

2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月11日

上場会社名 株式会社ハウテレビジョン 上場取引所 東
コード番号 7064 URL https://howtelevision.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 音成 洋介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 清水 伸太郎 TEL 03(6427)2862
半期報告書提出予定日 2024年9月11日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年2月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	1,140	-	293	-	292	-	184	-
2024年1月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2025年1月期中間期 184百万円 (-%) 2024年1月期中間期 -百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	135.14	135.07
2024年1月期中間期	-	-

(注) 当社は、2025年1月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年1月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2025年1月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期中間期	2,452	1,254	51.2
2024年1月期	-	-	-

(参考) 自己資本 2025年1月期中間期 1,254百万円 2024年1月期 -百万円

(注) 当社は、2025年1月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年1月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年1月期	-	0.00	-	-	-
2025年1月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,390	-	450	-	446	-	303	-	222.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) Liiga株式会社、株式会社ログリオ、除外 1社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年1月期中間期	1,362,155株	2024年1月期	1,359,400株
② 期末自己株式数	2025年1月期中間期	108株	2024年1月期	6,245株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年1月期中間期	1,361,910株	2024年1月期中間期	1,352,150株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

また、当社グループはキャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

当社グループの事業領域である人材・就職支援業界においては、2024年6月の有効求人倍率が1.23倍(前年同月は1.31倍。厚生労働省調査)、完全失業率が2.5%(前年同月は2.5%。総務省統計局調査)を記録しております。有効求人倍率は緩やかな低下傾向にあり一部業種においては求人数の減少が見られるものの、物価上昇が続く中、より収入が高い企業への就職・転職を求める動きは若年層を中心として活発な状況が続いております。また、株式会社リクルートが発表している「就職プロセス調査(2025年卒)」においては、2025年3月大学等卒業予定者の就職内定状況は、当該大学等卒業予定者の就職内定率が91.2%(2024年8月1日時点。前年同月は86.6%)と、例年より早いペースで90%を突破しております。事業のDX化推進に伴うIT人材に対する企業需要の高まりやジョブ型採用の広がりなどにより市場全体の雇用環境や企業の採用戦略はポジティブな状況が継続しており、特に専門性が高く優秀な人材に対する企業の需要は引き続き堅調に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループのキャリアプラットフォーム事業においては、引き続き戦略的なマーケティング・営業活動により、顧客層・顧客数の拡大と単価向上に向けた施策を推進しております。顧客層・顧客数の拡大に関しては、カスタマーサクセスの拡充により継続率を向上させつつ、ブランド認知の浸透を目的とした露出の強化や日系大手・メガベンチャーなどの開拓により新規顧客の獲得を進め取引企業数の拡大を図ってまいりました。単価向上に関しては、課題解決型提案による価値の最大化を志向し、新規エンジニア採用のための強化プランのリリース、女性・理系採用特化商品等の充実やジョブ型採用の導入・促進を実施いたしました。

当中間連結会計期間における新卒サービス領域の具体的な取り組みとしては、50社以上のトップ企業が集う当社恒例のオンラインイベント「外資就活Live Spring 2024」、オフライン合同座談会「外資就活Meetup」の開催や、エンジニア就活に特化したサービス「Software Engineer就活 by 外資就活ドットコム」の新規リリースを行っております。

また「Liiga」を中心とした中途サービスの事業に関し、事業及びプロダクトの変革に従来以上のスピード感で取り組むため、2024年2月にLiiga株式会社を新規設立し、同社に当該事業を承継いたしました。当中間連結会計期間においては、利用エージェントとのマッチング以降の決定率向上を企図した取り組みを進めております。

さらに2024年4月には、株式会社ログリオの株式を取得し同社を連結子会社といたしました。同社は、エンジニア採用(DevHR)領域で高い専門性を有するRPO(採用代行)サービスを展開しており、当該サービスは当社グループの既存事業との親和性も高く、強いシナジー効果を見込んでおり、当中間連結会計期間においても収益の上積みにも貢献しております。

当社グループのキャリアプラットフォーム事業においては、「累積取引社数」及び「累積会員数」を重要な経営指標として定義しております。当中間連結会計期間末におけるキャリアプラットフォーム事業の累積取引社数は936社(前期末から43社増)に、また、累積会員数は563,975人(前期末から38,911人増)と、着実な伸長を継続しております。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は1,140,984千円、営業利益は293,798千円、経常利益は292,650千円、親会社株主に帰属する中間純利益は184,050千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は1,898,454千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,715,197千円、売掛金120,585千円であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は554,211千円となりました。主な内訳は、株式会社ログリオの連結子会社化により発生したのれん173,778千円、ソフトウェア131,047千円、有形固定資産86,505千円であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は859,075千円となりました。主な内訳は、契約負債331,285千円、1年内返済予定の長期借入金178,024千円であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は338,865千円となりました。主な内訳は、長期借入金330,126千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は1,254,725千円となりました。主な内訳は、資本剰余金550,594千円、利益剰余金694,435千円であります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ290,237千円増加し、1,715,197千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は506,116千円となりました。主な収入要因は、税金等調整前中間純利益292,650千円、減価償却費45,260千円、契約負債の増加額254,247千円であり、主な支出要因は、法人税等の支払額78,186千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により使用した資金は123,477千円となりました。主な支出要因は、無形固定資産の取得による支出51,736千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出69,353千円であり、

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により使用した資金は92,400千円となりました。主な支出要因は長期借入金の返済による支出92,096千円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の通期の業績予想につきましては、2024年3月6日公表の「2024年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,715,197
売掛金	120,585
貯蔵品	10,354
その他	54,031
貸倒引当金	△1,715
流動資産合計	1,898,454
固定資産	
有形固定資産	86,505
無形固定資産	
ソフトウェア	131,047
のれん	173,778
その他	5,649
無形固定資産合計	310,475
投資その他の資産	
投資有価証券	20,000
敷金	78,970
繰延税金資産	41,676
その他	16,583
投資その他の資産合計	157,230
固定資産合計	554,211
資産合計	2,452,666
負債の部	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	178,024
未払法人税等	114,479
契約負債	331,285
賞与引当金	13,200
その他	222,086
流動負債合計	859,075
固定負債	
長期借入金	330,126
資産除去債務	8,739
固定負債合計	338,865
負債合計	1,197,941
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	550,594
利益剰余金	694,435
自己株式	△304
株主資本合計	1,254,725
純資産合計	1,254,725
負債純資産合計	2,452,666

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上高	1,140,984
売上原価	174,654
売上総利益	966,330
販売費及び一般管理費	672,532
営業利益	293,798
営業外収益	
受取利息	8
雑収入	562
その他	10
営業外収益合計	581
営業外費用	
支払利息	1,728
営業外費用合計	1,728
経常利益	292,650
税金等調整前中間純利益	292,650
法人税、住民税及び事業税	115,070
法人税等調整額	△9,327
過年度法人税等	2,856
法人税等合計	108,600
中間純利益	184,050
親会社株主に帰属する中間純利益	184,050

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
中間純利益	184,050
中間包括利益	184,050
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	184,050

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	292,650
減価償却費	45,260
のれん償却額	12,412
株式報酬費用	7,917
貸倒引当金の増減額(△は減少)	289
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,180
受取利息	△8
支払利息	1,728
売上債権の増減額(△は増加)	△18,901
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,052
契約負債の増減額(△は減少)	254,247
その他	△16,679
小計	586,044
利息の受取額	8
利息の支払額	△1,749
法人税等の支払額	△78,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	506,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△51,736
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△69,353
その他	△2,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△92,096
自己株式の取得による支出	△304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,400
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	290,237
現金及び現金同等物の期首残高	1,424,959
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,715,197

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月24日に無償減資を実施いたしました。この無償減資等の結果、当中間連結会計期間において資本金が60,610千円減少し、資本剰余金が85,708千円増加し、当中間連結会計期間末において、資本金は10,000千円、資本剰余金は550,594千円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

当社は、キャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 当社の中途採用プラットフォーム事業

事業の内容 リクルーティング・プラットフォーム「Liiga」の管理運営

(2) 企業結合日

2024年2月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社、Liiga株式会社を承継会社とする新設分割(簡易新設分割)

(4) 結合後企業の名称

Liiga株式会社(当社の連結子会社)

(5) その他取引の概要に関する事項

中途採用プラットフォーム事業の今後の展開・拡大に向け、本新設分割により機動的かつ柔軟な事業戦略の遂行を推進することを目的に行ったものです。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等として会計処理を行っております。

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ログリオ

事業の内容 採用代行サービス(RPO)

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、新卒向け「外資就活ドットコム」と中途向け「Liiga(リーガ)」の2つのプロダクトを基点にキャリアプラットフォーム事業を展開してまいりましたが、近年はユーザー及びクライアント企業のエンジニア職に対する需要の高さを受けて、同領域の拡大に注力しております。

株式会社ログリオは、エンジニア採用代行(RPO)領域において、高品質なサービスを提供しており、LAPRAS株式会社が主催する「LAPRAS SCOUT AWARD 2022」ではRPO賞を受賞しております。

今回の株式会社ログリオの完全子会社化により、当社グループにおけるエンジニア採用支援事業を強化し、ユーザー及びクライアント企業に対し高付加価値なサービスを提供するとともに、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

- (3) 企業結合日
2024年4月1日
- (4) 企業結合の法的形式
現金を対価とする株式取得
- (5) 結合後企業の名称
結合後企業の名称に変更はありません。
- (6) 取得した議決権比率
100%
- (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

- 2. 中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間
2024年4月1日から2024年7月31日まで

- 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

	取得の対価 現金	230,000千円
	取得原価	230,000千円

- 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額
アドバイザーに対する報酬・手数料等 13,800千円

- 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- (1) 発生したのれん
186,191千円
- (2) 発生原因
主として今後の事業展開によって期待される超過収益力から発生したものであります。
- (3) 償却方法及び償却期間
5年間にわたる均等償却

- 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	84,510千円	
固定資産	555千円	
資産合計	85,066千円	
流動負債	28,310千円	
固定負債	12,947千円	
負債合計	41,257千円	

(重要な後発事象)
該当事項はありません。